

令和7年10月24日付 信濃毎日新聞に掲載された
「当法人における医療的ケア児者へのサービス終了の方向性」について

当法人は、この北信圏域において障がい福祉分野で重要な役割を担っており、地域に対して大きな責任を負っていると自覚しております。

今回公表いたしました「医療的ケア児者へのサービス終了の方向性」は、その責任を踏まえ、現下の社会情勢と事業環境を冷静に見据えたうえで、熟慮を重ねた結果として導き出した判断です。

医療的ケア児者の支援は、もはや一法人や一事業所の努力だけで完結できるものではありません。私たちはこの現実を真摯に受け止め、今回の決断が、地域全体で持続可能な支援体制を構築していくための契機となることを強く願っております。

当法人の理念は、「障がいのある方とそのご家族が、この地域に生まれてよかったと実感できる人生を送っていただくために高水福祉会は存在する」というものです。

その理念に忠実であるためにも、私たちは安易にサービスの継続を掲げるのではなく、現実と誠実に向き合い、地域と共に、決してあきらめることなく、持続可能な支援の形を模索してまいります。

令和7年10月28日
社会福祉法人高水福祉会
理事長 野口 直樹